

平成30年度



帯広市立帯広第七中学校の通知表

【教育目標】

生氣広野に充ちる北の大地に立ち

■ 考えを深め表現・創造する人間

- ・夢の実現を目指して、手の届くところに目標をおき、辛抱強く努力する。
そして、小さな成功体験を積み重ねることができる生徒
- ・考えたこと、わかったことを伝えあい、新たな価値を生み出そう（成長しよう）とすることができる生徒

■ 心豊かに思いやりを実践する人間

- ・自分も自分以外の人間も、かけがえのない存在として尊重することができる生徒（人権・挨拶・感謝）
- ・人や社会の役に立とうと、一つでも実践きる生徒

■ 自らをきたえたくましく生きる人間

- ・生きるためのすべての源である健康や体力の価値を理解し、進んで健康管理や体力づくりができる生徒
- ・全力で行事や部活を楽しむ生徒

帯広市立帯広第七中学校

校長名

小 玉

功

自己評価

※評価は、平均得点が2.4未満は1、2.4以上～2.8未満は2、2.8以上～3.2未満は3、3.2以上～3.6未満は4、3.6以上は5にしています。

評価項目	評価指標	評価欄
確かな学力と主体的に学ぶ生徒を育てる	① 教科指導の充実	3.1
	② 特別支援教育の充実	3.1
	③ 評価・評定の整備	3.2
	④ 図書教育の充実	3.0
	⑤ 学びの機会の充実	3.1
規範意識を向上させ豊かな心を育てる	① 生徒指導の充実	3.2
	② 学年・学級経営の充実	2.6
	③ 道徳教育の改善と充実	3.1
	④ 特別活動の充実	3.0
	⑤ 総合的な学習の時間の工夫	3.4
	⑥ 環境教育の充実	2.8
	⑦ 学校内外の環境整備と美化	2.9
	⑧ 進路指導の充実	3.2
	⑨ 国際理解・平和教育の充実	2.5
	⑩ 言語環境・教育環境の充実	3.0
健康増進・体力向上を目指す実践力を育てる	・学年の連携がとれている時ととれていない時があると感じます。生徒の実態に合わせて先生方がコミュニケーションを図りながら、対応策や改善策を考えていけたらと思います。 ・各自が割り当たっている業務に責任持って取り組んでいれば、これほどごたごたする状態にならないはずです。管理職にこれほどまでに頼らなければならない現状が情けなく思います。 ・⑧について、総合の内容に高校調べのようなものを3年間の中で段階的に入れるようにしては・・・と思います。	
	① 健康安全	3.0
	② 体力・運動能力の向上	3.3
学校組織の機能化と開かれた学校づくりの推進	① 校内組織の強化と機能化	3.3
	② 校務の効率化	3.0
	③ 保護者・地域との連携・協働	3.3
	④ 風通しのよい学校づくり	3.3
	・分掌や学年の仕事など、相談しながら進められていると思います。	
危機管理・服務規律の徹底	① 危機管理体制の整備と危機意識	3.3
	② 自己点検・改善を意識した学校づくり	3.3

参考資料

－保護者アンケート結果－

※ 「あてはまる」に4点、「ややあてはまる」に3点、「あまりあてはまらない」に2点、「あてはまらない」に1点を与え、学年平均で表しています。（目標8割…3.2）

評 価 指 標		評 価 欄		
本校の教育目標に関わること		1年	2年	3年
■考えを深め、表現・創造する人間	お子さんは、夢や目標を持って生活している。	3.1	2.9	3.1
	お子さんは、目標を達成するため、辛抱強く努力している。	3.1	2.9	3.2
	お子さんは、自分の考えを相手に伝えたり、相手の考えを聴いたりできている。	2.8	3.1	3.1
■心豊かに、思いやりを実践する人間	お子さんは、自分を大切・大事にできている。	3.2	3.4	3.5
	お子さんは、周りの人すべてをかけがえのない存在として尊重した言動ができている。（挨拶・礼儀・感謝の言葉など）	3.2	3.2	3.3
	お子さんは、人や社会の役に立とうと行動している。	2.8	3.2	3.2
■自らをきたえ、たくましく生きる人間	お子さんは、健康や体力の維持向上に取り組んでいる。	3.3	3.4	3.3
	お子さんは、家庭での学習習慣が身に付いている。	3.1	2.6	2.9
家庭の役割に関わること				
家庭では、我が家のルールを明確に伝え、守らせている。		2.9	2.9	3.1
家庭では、基本的な生活習慣や学習習慣を身に付けさせている。		2.9	3.0	3.1
学校の役割に関わること				
学習指導	学校は、生徒の夢や目標の実現に向けて学習指導を適切に行っている。	3.0	2.9	2.9
特別活動・部活動	学校は、生徒の夢や目標の実現に向けて行事や部活動を適切に行っている。	3.1	3.0	2.9
特別支援教育	学校は、生徒一人ひとりを大切にした指導を行っている。	3.1	3.0	2.9
生徒指導	学校は、人権を意識し、いじめや差別のない学校づくりに努めている。	3.2	3.0	2.8
家庭・地域との連携	学校は、積極的に学校の教育活動を公開し、情報提供している。	3.2	3.2	3.2
	学校は、地域の教育資源（環境、人、文化等）を活かした教育活動を行っている。	3.2	3.4	3.3

【記述】

- ⑨については、最近よく家族で話し合うことが増えました。ずっと守っていたルールを最近はいろいろな理由で守れなくなる場面があり、どこまで許していいのか迷います。その都度話をし解決しようと思っています。
- 「学校は、・・・」という質問については、学校にお任せしているので、よくわかりません。
- 生徒の登下校の荷物（多い、重い）の件は、七中としてどのように対応しますか？
- 最近、部活動の指導に対して、子どもが自分の意見を聞いてもらえないと感じ、不信感をもっていることに不安を感じています。
- 表面的にいい子が、裏ではすごい言葉遣いで先生方の悪口を言っていたり、いじめをしていたり、先生方が見抜けていないのがすごく残念に思います。
- 進路指導など、三者面談は一年生のときから行って欲しい。
- 大変お世話になっております。充実した中学校生活を送ることができています。ありがとうございます。卒業までよろしくお願いいたします。
- アンケートに名前を書く必要があるのかと毎回思います。

－ 生徒アンケート結果 －

※ 「あてはまる」に4点、「ややあてはまる」に3点、「あまりあてはまらない」に2点、「あてはまらない」に1点を与え、学年平均で表しています。（目標8割…3.2）

評 価 指 標		評 価 欄		
教育目標の達成に関わること		1 年	2 年	3 年
■考えを深め、表現・創造する人間	夢や目標を持って生活している。	3.3	3.3	3.2
	目標を達成するため、辛抱強く努力している。	3.0	3.5	3.2
	自分の考えを相手に伝えたり、相手の考えを聴いたりできている。	3.0	3.7	3.1
■心豊かに、思いやりを実践する人間	自分は大切な存在だと自分で思っている。	2.8	2.5	2.7
	自分の周りの人すべてをかけがえのない存在として尊重している。（挨拶・礼儀・感謝の言葉など）	3.5	3.8	3.3
	人や社会の役に立つようなことができた。	3.1	3.2	2.8
■自らをきたえ、たくましく生きる人間	食事や睡眠などの健康管理が進んでできた。	3.5	3.3	2.8
	運動による体力づくりが進んでできた。	3.6	3.7	3.0
	全力で行事や部活を楽しんだ。	3.5	3.7	3.5
学習用具の忘れ物はなかった。		2.8	3.2	2.9
課題は、期日までに提出できていた。		3.0	3.7	3.3
「わかりたい」、「できるようになりたい」という意欲を持って臨めた。		3.4	3.6	3.4
授業では、自分で考える時間を有効に使った。		3.2	3.5	3.4
授業では、自分の考えと他の人の考えを比較しながら聞いた。		3.5	3.4	3.2
授業で話し合う活動があったときに、積極的に参加できた。		3.0	3.4	3.1
授業で「わかった」、「できるようになった」という実感がもてた。		3.3	3.5	3.2

－北海道教育推進基本計画の達成状況【12月調査】－

項 目	目標値	1 年	2 年	3 年
目標1 社会で生きる力の育成				
授業の中で目標(めあて・ねらい)が示されていた	100%	未調査	未調査	未調査
授業の最後に学習を振り返る活動をしていた	100%	未調査	未調査	未調査
普段、家で1時間以上勉強する生徒の割合	100%	75%	67%	83%
理科で週1回以上観察や実験を行っている	100%	未調査	未調査	38%
数学で学習したことを普通の生活の中で活用できないか考える生徒の割合	100%	70%	80%	42%
将来の夢や目標を持っている	100%	85%	80%	88%
目標2 豊かな人間性の育成				
学校の規則を守っている生徒の割合	100%	95%	100%	96%
自分には、よいところがあると思う生徒の割合	100%	75%	72%	79%
地域や社会で起こっている問題に関心がある生徒の割合	100%	75%	76%	71%
普段、家で10分以上読書する生徒の割合	70%	70%	71%	71%
生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる生徒の割合	100%	85%	96%	92%
授業で、話し合う活動をよく行っていたと感じる生徒の割合	100%	未調査	未調査	未調査
いじめは、どんな理由があってもいけないと思う生徒の割合	100%	95%	100%	96%
目標3 健やかな身体の育成				
体力合計点の全国平均を50.0とした場合の値	50以上	50.7	53.4	51.7
体育の授業以外で1週間に60分以上運動した生徒の割合	100%	未調査	100%	未調査
朝食を毎日食べている生徒の割合	100%	90%	96%	83%
目標4 学び支える家庭・地域との連携・協働の推進				
普段2時間以上ゲームをしている生徒の割合	全国平均以下	未調査	未調査	未調査
毎日同じぐらいの時間に寝ている生徒の割合	100%	90%	80%	67%
普段家で10分以上読書する生徒の割合	70%	70%	71%	71%
朝食を毎日食べる生徒の割合	100%	90%	96%	83%
学校独自調査				
先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う		60%	80%	88%

ースマホ等通信端末利用状況調査結果【7月調査】ー

	1年	2年	3年
所持率（ガラケー、スマホ、ゲーム端末、iPod、iPad等）	95%	89%	84%
2時間以上使用する生徒の割合	36%	22%	44%
SNS（ライン等）やメールで他者と交流している生徒の割合	63%	63%	64%
使用する際に約束がない、あっても守っていない生徒の割合	23%	22%	36%

ー子ども理解支援ツール「ほっと2014」の結果ー

【平成30年度 11月実施】 ※各学年の平均値を表しています。（最大値4.0点）

要素	質 問 項 目	1年	2年	3年
礼儀	だれにでも自分からあいさつをすることができる。	3.1	3.7	3.5
	感謝の気持ちを伝えることができる。	3.5	3.9	3.6
表明	少数意見であっても、自分の考えをしっかりと言うことができる。	2.9	3.2	3.2
	場面や状況を考えて、相手に伝わるように発言できる。	2.9	3.4	3.2
参加	積極的に集団活動に参加できる。	3.0	3.6	3.5
	共通の目標に向かって、みんなと協力することができる。	3.5	3.8	3.5
配慮	困っている人を助けることができる。	3.3	3.8	3.5
拒否	危険なことに誘われても、断ることができる。	3.7	3.9	3.4
緊張	友だちにどう思われるか不安で、本音を話すことができない。	2.6	3.0	2.6
	緊張して人前で話すことができないことがある。	2.0	2.4	3.0
称賛	がんばっている友だちを励ましたりほめたりすることができる。	3.1	3.8	3.7
遵守	学校のきまりやルールを守ることができる。	3.6	3.9	3.6
忠告	みんなのやる気を高める発言をすることができる。	2.5	3.0	3.0
	まわりに迷惑をかける人に注意することができる。	3.1	3.3	3.2
自律	注意されたときなどに、嫌な気持ちを態度に出さない。	2.6	3.0	3.0
率先	司会や班長として、具体的に指示を出したり、意見をまとめたりすることができる。	2.5	3.2	2.9
	クラスのことを考えて行動することができる。	3.0	3.6	3.4
学業	休み時間中に次の授業の準備ができる。	3.3	3.9	3.8
	友だち同士で協力し合って学習することができる。	3.3	3.8	3.8
相談	困ったことや悩みを先生や友達に相談することができる。	3.0	3.7	3.0
	自分の性格や趣味などを友達に話すことができる。	3.2	3.8	3.6

－いじめ調査結果－

項 目	6月調査（人数）	11月調査（人数）	2月調査（人数）
いじめの有無	あり（0）	（2）	（3）
いじめを受けた時の相談相手	誰にも相談しない（4）	（5）	（7）
いじめはどんな理由があっても許されないことだと思うか	よくわからない（2） そう思わない（0）	（3） （3）	（1） （3）

※いじめの申告については、全てにおいて状況確認を行い、全容の解明及び実態調査を終え解決しています。

－学力調査等の結果－

【平成30年度全国学力学習状況調査結果】

	国語A	国語B	数学A	数学B	理科
全国平均	76.1%	61.2%	66.1%	46.9%	66.1%
七中	△	◎	◎	◎	◎

－新体力テストの結果【5月調査】－

「全国体力・運動能力、運動習慣調査」において、全国平均値を50.0とした場合の偏差値

	1年		2年		3年	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子
握力(kg)	63.7	53.1	59.2	57.8	53.7	58.5
上体起こし(回)	55.3	51.6	48.9	49.9	49.5	52.0
長座体前屈(cm)	61.9	49.1	46.0	47.7	45.7	56.0
反復横跳び(回)	51.4	49.9	53.9	47.7	45.3	51.4
20mシャトルラン(回)	60.7	49.6	51.3	51.5	53.1	44.0
50m走(秒)	51.3	47.2	50.8	51.7	47.8	47.4
立ち幅跳び(cm)	53.5	51.6	53.4	54.9	51.0	53.0
ハンドボール投げ(m)	59.9	57.8	57.4	58.0	51.7	56.2
体力合計	62.2	52.0	53.4	53.3	50.5	53.5

総合評価

	1年		2年		3年	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子
A	3人	6人	2人	4人	1人	6人
B	2人	6人	3人	8人	6人	5人
C	2人	0人	5人	0人	5人	0人
D	2人	0人	3人	0人	1人	0人
E	0人	1人	0人	0人	0人	1人

－ 体格・各検診等の結果【4月調査】 －

	1 年		2 年		3 年	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子
平均身長 (全国比)	155.3 +2.6	152.5 +0.6	160.8 +0.9	152.3 -2.5	162.7 -2.7	158.4 +1.9
平均体重 (全国比)	46.2 +2.3	44.3 +0.9	50.1 +1.5	49.6 +2.7	51.3 -2.7	49.3 -0.6
視力 (0.7以下)	4 5 %		1 5 %		4 0 %	
う歯の有無	1 8 %		1 5 %		2 4 %	
食物アレルギー	9 % 長いも・バナナ・サバ		0 %		1 6 % 乳製品・果物・ナッツ・バラ科の食物	

< 参考資料 >

－ 北海道教育推進基本計画(2018～2022年度)の達成状況－

目標 1 社会で生きる力の育成

施策項目 1－1 義務教育における確かな学力の育成

達 成 目 標	目標値	達成状況
全国学力・学習状況調査において、「生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか」という質問に対して、「よくしている」と回答した学校の割合	100%	○
全国学力・学習状況調査において、「授業の中で目標（めあて・ねらい）が示されていたと思いますか」という質問に対して、「当てはまる」と回答した中学校3年生の割合	100%	未調査
全国学力・学習状況調査において、「授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか」という質問に対して、「当てはまる」と回答した中学校3年生の割合	100%	未調査
全国学力・学習状況調査において、「学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思いますか」という質問に対して、「当てはまる」と回答した中学校3年生の割合	100%	未調査

全国学力・学習状況調査において、「今回の国語、数学の問題について、どのように解答しましたか（最後まで解答を書こうと努力しましたか）」という質問に対して、「全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」と回答した中学校3年生の割合	100%	58%
全国学力・学習状況調査において、「学校の授業以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれぐらいの時間、勉強をしますか」という質問に対して、「1時間以上勉強する」と回答した中学校3年生の割合	100%	54%
全国学力・学習状況調査における小・中学校の国語A・B、数学のA・Bの平均正答率の整数値での比較において、全国以上の教科数	全教科	4/5 ×国語A

施策項目2 特別支援教育の充実

「個別の教育支援計画」を進学先等への引き継ぎに活用している学校(園)の割合	100%	○
特別支援教育に関する研修を受講した教員の割合	100%	25%
特別支援学校教諭免許状の所有率（中学校特別支援学級担当教員）	60%	18%

施策項目3 国際理解教育の充実

中学校卒業段階で英検3級以上を取得又は英検3級以上の英語力を有するとされる生徒の割合	50%	24%
「CAN-DOリスト」の学習到達目標の達成状況を把握している中学校の割合	100%	×

施策項目4 理数教育の充実

全国学力・学習状況調査において、「理科室で観察や実験をする授業を1クラス当たりどの程度行いましたか」という質問に対して、「週1回以上」と回答した学校の割合	100%	38%
全国学力・学習状況調査において、「数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか」という質問に対して、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した中学校3年生の割合	100%	46%

施策項目 5 情報教育の充実

教育用コンピュータ1台当たりの生徒数	3.6人	○
学校における教育の情報化の実態等に関する調査において、「授業中にICTを活用して指導する能力」について「わりにできる」「ややできる」と回答した教員の割合	100%	未調査
学校における教育の情報化の実態等に関する調査において、「情報モラルなどを指導する能力」について「わりにできる」「ややできる」と回答した教員の割合	100%	未調査

施策項目 6 キャリア教育の充実

全国学力・学習状況調査において、「将来の夢や目標を持っている」という設問について、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した中学校3年生の割合	100%	83%
--	------	-----

目標 2 豊かな人間性の育成

施策項目 8 道徳教育の充実

道徳科の指導方針、内容との関連を踏まえた各教科等における指導の内容及び時期等を示した道徳教育の全体計画「別様」を作成した学校の割合	100%	作成中
全国学力・学習状況調査において、「学校の規則を守っている」という質問に対して、「当てはまる」「やや当てはまる」と回答した中学校3年生の割合	100%	○
全国学力・学習状況調査において、「自分には、よいところがあると思う」という質問に対して、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した中学校3年生の割合	100%	79%
学校や各学年の目標、教科等との関連などを示した全体計画を作成し、人権教育に取り組んでいる学校の割合	100%	○

施策項目 9 ふるさと教育の充実

全国学力・学習状況調査において、「地域や社会で起こっている問題に関心があるか」という質問に対して、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した中学校3年生の割合	100%	83%
アイヌの人たちの歴史・文化等に関する学習において、施設や人材を活用した体験を通じた学習を行っている学校の割合	100%	×
北方領土に関する学習において、施設や人材を活用した体験を通じた学習を行っている学校の割合	100%	×

施策項目10 読書活動の推進

全国学力・学習状況調査において、「家や図書館で、普段(月～金どれくらいの時間、読書をしますか)」という質問に対して、「10分以上」と回答した中学校3年生の割合	70%	71%
学校図書館図書標準を達成している学校の割合	60%	×
公立図書館や様々な人材と連携した取組を行っている学校の割合	100%	○

施策項目12 コミュニケーション能力の育成

全国学力・学習状況調査において、「生徒の間で、話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか」という質問に対して、「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」と回答した中学校3年生の割合	100%	92%
全国学力・学習状況調査において、「授業では、生徒の間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか」という質問に対して、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した中学校3年生の割合	100%	未調査
全国学力・学習状況調査において、「言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んでいますか」という質問に対して、「よくしている」と回答した学校の割合	100%	×

施策項目13 いじめの防止や不登校児童生徒への支援の取組の充実

全国学力・学習状況調査において、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」という設問について、「当てはまる」と回答した中学校3年生の割合	100%	○
文部科学省調査の「いじめの認知件数」のうち、「解消しているものの割合」	100%	○
定期的にネットパトロールを行っている学校の割合	100%	○
文部科学省調査の「不登校児童生徒」のうち、「学校内外の機関等」において相談・指導を受けた児童生徒の割合	100%	○

目標3 健やかな体の育成

施策項目14 体力・運動能力の向上

「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」において、体力合計点の全国平均値を50.0とした場合の北海道の中学校2年生の値	50.0以上	○
「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」において、体育の授業以外で1週間に運動・スポーツの総運動時間が60分以上と回答した中学校2年生の割合	100%	○

施策項目15 食育の推進

全国学力・学習状況調査において、「朝食を毎日食べていますか」という質問に対して、「食べている」と回答した中学校3年生の割合	100%	92%
---	------	-----

施策項目16 健康教育の充実

学校保健委員会を、年間に複数回開催している中学校の割合	100%	×
-----------------------------	------	---

目標4 学び地域との連携・協働の推進

施策項目17 家庭教育支援の充実

全国学力・学習状況調査において、「普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか」という質問に対して、「2時間以上」と回答した中学校3年生の割合	毎年度全国平均を下回るとともに、前年度も下回る	未調査
全国学力・学習状況調査において、「毎日、同じくらいの時間に寝ていますか」という質問に対して、「寝ている」又は「どちらかといえば、寝ている」と回答した中学校3年生の割合	100%	67%
全国学力・学習状況調査において、「家や図書館で、普段(月～金どれくらいの時間、読書をしますか」という質問に対して、「10分以上」と回答した中学校3年生の割合(再掲)	70%以上	71%
全国学力・学習状況調査において、「朝食を毎日食べていますか」という質問に対して、「食べている」と回答した中学校3年生の割合(再掲)	100%	92%

施策項目19 学校と地域の連携・協働の推進

全国学力・学習状況調査において、「学校地域支援本部などの学校支援ボランティアの仕組みにより、保護者や地域の人が学校における教育活動や様々な活動に参加してくれますか」という質問に対して、「よく参加してくれる」「参加してくれる」と回答した学校の割合	100%	未調査
コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)の導入・推進状況等の調査において、コミュニティ・スクールが導入されている公立学校の割合	80%以上	×

目標5 学びをつなぐ学校づくりの実現

施策項目21 学校段階間の連携・接続の推進

全国学力・学習状況調査において、「近隣の小学校と、教育目標を共有する取組を行いましたか」という質問に対して、「よく行った」と回答した学校の割合	100%	×
---	------	---

全国学力・学習状況調査において、「近隣等の小学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行いましたか」という質問に対して、「よく行った」と回答した学校の割合	100%	×
--	------	---

施策項目23 学校施設・設備の充実

公立学校施設の耐震改修状況調査において、「全棟数」に占める「耐震性がある棟数」の割合	100%	○
教育用コンピュータ1台当たりの生徒数（再掲）	3.6人	○
学校図書館図書標準を達成している学校の割合	60%	×

施策項目24 教員の養成・採用・研修の一体的な改革の推進

教員が道教委の研修に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映している学校の割合	100%	○
---	------	---

施策項目25 学校運営の改善

一週間当たりの勤務時間が60時間を超える教員の割合	0%	30%
部活動休養日を完全に実施している部活動の割合	100%	○

施策項目26 学校安全教育の充実

防犯教室及び防犯訓練の両方を実施している学校の割合	100%	防犯のみ
通学路の安全マップを、学級活動等での指導の際に活用した学校の割合	100%	×
警察などと連携し、児童生徒の体験型交通安全教育を行っている学校や、生徒が自ら積極的に学ぶ活動を行っている学校の割合	100%	○
地震に加え、地域の実態を踏まえた風水害等の自然災害に応じた、避難（防災）訓練を実施している学校の割合	100%	○